

「終活俳句」

弊社のご案内している「終活俳句」とは、終活に関する内容を俳句に詠むことではなく、終活の一環として、シニアの方が人生の後半・晩年に、俳句の勉強を始めることです。「終活俳句」は人生の晩年をより豊かで穏やかな時間に導く終活・趣味の一つだと考えています。

(実は、終活をすることと俳句を詠むことには、本質的な共通点があります。)

「終活俳句」の進め方

弊社の考える「終活俳句」の進め方は

- 1 : 口語体・文語体、旧仮名遣い、文法を気にし過ぎない。
(気にして、勉強してもいい。)
- 2 : 結社や句会、入選落選や類想類句、上手下手などを気にし過ぎない。
(気にして、こだわったり、頑張って勉強してもいい。)
- 3 : 良さや意味が分からない句があっても、そのまま保留してもいいし、
歳時記などで調べてもいいし、1, 2年後に分かってもいいし、
ずっと分からなくてもいい。
- 4 : 自分で良い句を詠めなくても、自分の好きな句、
自分の気持ちを代弁してくれるような句を知っているだけでもいい。
- 5 : 他人の句を批判・否定しない。
- 6 : 季語を勉強して、必ず季語を入れる。
- 7 : 出来るだけ、5・7・5を意識する。
- 8 : 「終活俳句」は自分のために詠む。(俳句は自由！)